

「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

ホームページアドレス
<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/>

編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264



長井港周辺と富士

2013年 スタート!!

2013年も横須賀市社協の
マスコットキャラクター・
フッピーの名前の由来である
「よこすかの福祉をハッピー
に」を合言葉に、いっしょに
暮らしやすいまち
づくりを進めてい
きましょう!



“募金活動”でさまざまな出会いが

共同募金活動にご協力ありがとうございました。 **ありました。**
共同募金が、支えあいのための大切な財源として
使われるよう、引き続き皆様のご協力をお願いします。



街頭募金活動の様子



平成24年度 県共同募金会オリジナルキャラクター
フタコブラクダのツガルさん

結果は平成25年4月号にて報告します。



『よこすか社協だより』は、みなさまからの賛助会費ならびに共同募金配分金を財源として発行しています。

～ご支援ありがとうございました～



東日本大震災 被災地救援



よこすか市民ボランティアバス「フッピー号」 2ヶ年のまとめ

「よこすか市民ボランティアバス フッピー号」には、「被災地を何とかしたい」という強い思いを持った人が、この2年間、全12便合わせて488人参加し、大津波の被災地で支援活動をしました。

◎ 大きく波打った高速道路を北へ

震災から4ヶ月後の平成23年7月8日夜、東北自動車道を、被災地に向けて走る深夜便トラックと、全国から救援に駆けつけたボランティアバスにまじって、横須賀発市民ボランティアバス「フッピー号」の第1便が、被災地の岩手県山田町に向け走り出しました。

◎ それは、ガレキ撤去から始まった

津波は、東北の太平洋岸を中心に、低地を飲み込み、数十メートルの高さとなって、谷川沿いに6キロ上流まで押し寄せ、生活のすべてを押し流しました。被災総面積は、横須賀市の6倍に達しました。

ボラバス1回分の、40人が人の手で行うガレキ撤去などの活動は、このあまりにも広い被災地の中では、小さな活動ですが、繰り返し、繰り返し活動することで、被災住民の方の大きな励みになりました。

参加したボランティアが、見聞きた被災地の様子を、横須賀に帰って周りの人に伝えることで、被災地を応援する仲間が何倍にも増えています。地元、横須賀発のボラバスだからこそ生まれる効果です。

横須賀から支援にいったことで、「私たちは忘れていない」と感じてもらえ、現地の人から感謝されました。今年は、夏休み期間中に70人の高校生が参加し、災害を肌で感じ、汗を流していました。



◎ 東北を思い続ける

東北は、いつまでも被災地ではありません。そこには、生活があります。日々、多くの支援を受けながら復興への取り組みをしています。横須賀市民としての支援を、今できることを長く続け、そして思い続けることが大切です。

冬にできる被災地支援として、イベント会場などの復興応援コーナーでの買い物や、旅行はいかがでしょうか。

東北被災地での生活者にとって2度目のつらい冬ですが、観光による復興支援も大切な支援です。中尊寺の金色堂、岩手雪まつり、横手かまくら、龍泉洞。風評被害に負けずにがんばってほしい福島。姉妹都市の会津若松市、ライトアップされた雪の鶴ヶ城など、見どころ満載です。

◎ 多くの方のさまざまな参加が支えに

ボラバスに参加いただいたのはボラバスに乗り被災地で活動した方だけではありません。これから暑くなるという頃にはTシャツが、秋風が立つと大量の厚手のジャンパーが届きました。お茶っこサロンでは、横須賀の新鮮玉子で作った具だくさんのたまごスープ、よこすか海軍カレー、走水湧水で入れたコーヒー、餅つきなど、現地ですぐに役立つ寄付での参加がよこされました。

そして、ボラバス運行のために、個人の方や企業の方、バザーやチャリティーショーなどの収益金、商店会の募金活動、誕生祝の記念になど、いろいろな形で寄付をいただきました。ありがとうございました。

● 23年度寄付合計

3,280,045円

● 24年度寄付合計

1,855,379円

(11月30日現在)



◎ 仮設住宅を出て、サロンで一息

24年度は、宮城県石巻市と岩手県釜石市でサロンを開きました。サロンは、お茶を飲みながら、おしゃべりを楽しむ企画です。

釜石は昨年に引き続き二度目のサロン開催となり、横須賀からまた来てくれたと、歓迎されました。

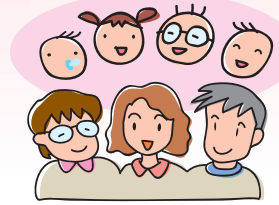
餅つきは、「近頃はパックの餅が多かった。やっぱり餅はつきたてがいいね」と喜ばれ、臼を二つも運び込んだ甲斐があったと、ボランティアもともに喜びを感じていました。

地域の子育て応援団!!

主任児童委員

主任児童委員をご存じですか。厚生労働大臣の指名を受けて、みなさんの身近なところで子育て家庭の困りごとなどの相談をお受けしたり、関係機関と協力しながら地域の子育て家庭を応援する方々です。

横須賀では、現在38人の主任児童委員が活動しています。活動の内容について、横須賀市民生委員児童委員協議会 主任児童委員連絡会代表の南條不二子さんに伺いました。



主任児童委員は民生委員児童委員の中で児童福祉に関する事項を専門的に担当しています。児童福祉法の中でも、「児童委員との連絡調整を行うとともに児童委員の活動に対する援助及び協力を行う事」と定めてあります。主に地域の子育て支援、個別支援、虐待の早期発見早期対応、児童健全育成支援に務めています。

1 地域の子育て支援

核家族化し、人と人との関係が希薄になっている昨今、こどもと子育て中の家庭を支援する“親子の遊びの広場”を開催して、親子や子育て家庭同士が交流できる場をつくることにも、主任児童委員も、地域にいる親子を知るよう努めています。また、地域で子育てにかかわる施設などを掲載したマップを作成し、配布している地区もあります。

2 個別支援

課題のある親子に対して、かかわりのある関係機関、福祉施設等がネットワーク会議を開くときは、主任児童委員も会議に出席することが多くあります。親子と顔見知りですることができれば、困りごとが起きたときも、状況が深刻化しないうちに支援に結びつくことも多いですが、日頃からの交流がないと普通に訪問することが難しいこともあります。関係機関などがかかわりたくない、周りに知られたくないという家庭は、見守るようにしていますが、その家庭と関係機関の間で板ばさみになってしまうこともあります。また、主任児童委員の担当地区は広いので、地区を担当する民生委員児童委員との連携も欠かせません。

3 児童健全育成

登下校、夏期・冬期の休み期間の地域パトロール、青少年育成活動地域連絡会の活動にも参加・協力しています。

これからも、児童相談所、保育所、幼稚園、学校などの児童福祉関係機関と情報を共有し、連携を密にした活動をしていきたいと思ひます。

東日本大震災義援金にご協力ありがとうございました

神奈川県共同募金会横須賀市支会では、東日本大震災の義援金を受け付けています。

※義援金の受付期間は3月31日までとなっています。

募金状況(11月30日現在)
18,297,495円

ご寄付いただきました

ボランティアバスの運行に際し、多くの方からご支援をいただきました。

〈ご寄付いただいた方々〉 ※順不同・敬称略

地水火風堂、北下浦地区社会福祉協議会、北下浦地区民生委員児童委員協議会、よこすかさかな祭り実行委員会、日本クラウンレコード大江希代子、木村重雄、(有)安田養鶏農場、武田安子、高原三千子、ハンドニットの会、よこすか布おもちゃグループ・ポケット、(特)YMCAコミュニティサポート、マイリトルハンズ、よこすかボランティアビューロ、谷口幸子 (9月1日~11月30日)

みんなで応援しよう!! “わいわい横須賀”プロジェクト

YOKOSUKA PROJECT

ヨコスカ共通CNポイントカード

COSCA [コスカ]

加盟店
募集中

[コスカ]と一緒に出かけよう!!

横須賀のいろいろなジャンルの加盟店で特典が満載のヨコスカ共通CNポイントカード『COSCA』入会金・年会費は、もちろん無料!!
横須賀を歩く時の必須アイテムです!

COSCA ポータルサイト ▶ <http://cosca.co.jp>

最良の結果を導き出す
良きパートナーでありたい。



株式会社 アド・マインド

AD.MIND CO., LTD.
Design Production Company

企画 デザイン(Graphic-Web) 撮影
eBook 3DCG Movie 印刷

“わいわい横須賀”プロジェクト チーム
〒239-0807 横須賀市根岸町3-14-25 グレイス5/1F
TEL.046-838-0555(代) FAX.046-834-3331
E-mail:contact@admind.jp URL: http://admind.jp

市社協役員体制

平成24年12月1日付けで任期満了による役員の変更があり、次の方が就任しました。

(任期 平成24年12月1日～平成26年11月30日)
(順不同・敬称略)

- 会長 藤原 尉夫
- 副会長 鈴木 立也
- 監事 鶴田健次郎 学識経験者
- 監事 菊池 匡文 横須賀商工会議所事務局長
- 顧問 阿部 志郎 横須賀基督教社会館会長

理事 (定数17名)

- 栗田 敏彦 やまびこ荘施設長
- 宮田 文乃 長井婦人会保育園園長
- 小林 好明 田浦地区民生委員児童委員協議会会長
- 田中 靖子 久里浜第一地区 民生委員児童委員協議会会長
- 赤穂 義明 横須賀保護司会会長
- 大武 勲 横須賀市障害者団体連絡協議会会長
- 佐藤 昌久 横須賀市ボランティア連絡協議会会長
- 櫻井 一宏 追浜地区社会福祉協議会会長
- 鈴木 立也 大津地区社会福祉協議会会長
- 杉田 惺 横須賀市議会 教育福祉常任委員会委員長
- 佐藤 良美 横須賀市福祉部長
- 浜田 哲一 横須賀商工会議所専務理事
- 西原 徹 横須賀市連合町内会会長
- 澄川 貞介 横須賀市連合町内会副会長
- 藤原 尉夫 神奈川県立保健福祉大学名誉教授
- 太田 貞司 横須賀市社会福祉協議会事務局長
- 青木 克明 横須賀市連合町内会会長
- 高木 睦子 長岡保育園園長
- 小林勇次郎 太田和保育園園長
- 浅葉 統太 横須賀椿園施設長
- 森 弘樹 ヒューマン施設長

評議員 (定数35名)

- 山本 英夫 衣笠病院事務部長
- 小谷 誠 フロムワン福祉園施設長
- 山口 忠夫 下町地区民生委員児童委員協議会会長
- 佐野美智子 上町第二地区 民生委員児童委員協議会会長
- 松永 玲子 衣笠第一地区 民生委員児童委員協議会会長
- 今野 幸子 衣笠第二地区 民生委員児童委員協議会会長
- 泉田 桂子 北下浦地区 民生委員児童委員協議会会長
- 小林 英樹 武山地区民生委員児童委員協議会会長
- 堀越 進 横須賀保護司会副会長
- 山口 聖譽 横須賀保護司会副会長
- 二宮 幸三 横須賀保護司会理事(会計)
- 浅羽 昭子 横須賀市障害者団体 連絡協議会副会長
- 五位 泰江 公郷かりがね作業所・ワークハウスすずらん所長
- 明珍 スイ 横須賀市ボランティア連絡協議会 副会長
- 手塚 敦子 中央地区社会福祉協議会会長
- 松田 立峯 田浦地区社会福祉協議会会長
- 鈴木 一良 逸見地区社会福祉協議会会長
- 新田 尊士 北下浦地区社会福祉協議会会長
- 大野 忠之 横須賀市議会 教育福祉常任委員会副委員長
- 上条 浩 横須賀市財政部長
- 植野不二夫 横須賀市福祉部福祉総務課長
- 中山 俊史 横須賀市教育委員会事務局 学校教育部長
- 佐々木秀弘 横須賀市医師会副会長
- 佐久間博一 横須賀市歯科医師会会長
- 高橋 達也 横須賀市薬剤師会会長
- 清水 健一 日本ボイスカウト神奈川連盟 横須賀地区協議会地区委員長
- 高須 和男 横須賀市連合町内会幹事
- 安部 春男 横須賀市連合町内会会計
- 藤森喜美子 横須賀市連合町内会会計
- 尾崎 哲夫 大倉 國光

「わたしがつくる みんなでつくる 一人ひとりが“住みやすい、まち 横須賀”を目指して ～第4次地域福祉活動計画 策定中!～」

平成20年3月に策定した、現在の横須賀市社協「第3次地域福祉活動計画」の取り組み期間の最終年度の5年を迎えています。市内各地域が抱える課題（普段



の暮らしの中の困りごと）を解決するために、さまざまな人・団体、福祉施設・関係機関が、課題を解決するために、地域の福祉活動を進めています。

現在は、23人の委員からなる「第4次地域福祉活動計画策定委員会」を発足して、計画の策定作業を行っています。

ここに注目!!

現計画の基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 一人ひとりが“住みやすい、まち 横須賀”」には、次のような意味が込められています。

- ▶「わたしがつくる」
一部の特定の人たちだけでなく、横須賀に関係のある一人ひとりが、主体となって地域をつくっていく
- ▶「みんなでつくる」
一人で解決するのではなく、みんなで連携・協働して、活動の輪を広げていく
- ▶「一人ひとりが“住みやすい、”
社会や地域から孤立しがちな少数の人たちの存在も意識し、誰にとっても住みやすいまち・横須賀をつくっていく

<土・日曜日>も開いています。

くらしの相談

相談は無料

お客様相談室

☎相談内容：相続・年金・資産運用・税金・その他よろず相談をお受けしております。

お取り次ぎどころ

お取引店へ各種書類をお取り次ぎいたします。

横須賀中央駅前出張所 2階

フリーダイヤル ☎0120-046801

営業時間 午前10:00～午後7:00

お休み 12月31日から1月3日まで、および平日が休日の場合はお休みとさせていただきます。



TRiBank Miura Fujisawa

三浦藤沢信用金庫

横須賀市社協の福祉活動を 応援してください! 賛助会員募集中!!

横須賀市社協では、賛助会員を随時募集しています。

賛助会員は、市社協が地域福祉を進めていくための取り組みに対して、ご賛同いただける方々に会員としてご加入いただき、その会費を事業に活用させていただくことで、ご支援をいただくものです。

毎年度、賛助会員のみなさまのおかげで、充実した広報活動やボランティア関連事業を展開しています。みなさまのご支援をお待ちしています!

賛助会員のみなさまのご支援で次の事業を行っています

- 社協だよりの発行 (年4回)
- ホームページの運営
- ふれあいキャンプ
- ボランティア体験
- おもちゃの病院

● 横須賀市社協へメッセージをお寄せください ●

ご協力いただいている、三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫の賛助会費専用振込用紙には、裏面に「通信欄」があります。(表面は「振込通知書」)

通信欄は、金融機関での手続き終了後、市社協へ届きます。賛助会費をお振込みいただく時には、ぜひ市社協へメッセージをご記入願います。

※通信欄以外の箇所へのメッセージ記入は、ご遠慮ください。



賛助会員のご紹介

★ 団体 (4団体)
横須賀緑化造園協同組合、浦賀地区ボランティアセンター、㈱エバーグリーン、(有)川口包装

★ 個人 (28人)
前田幾代、泉田桂子、芳賀久雄、小岩功、廣部栄子、秋本龍美、山口浩、富田恵美子、篠原久恒、土肥愉矩子、明石稔、渡辺孝夫、渡辺睦美、渡辺晶子、伊作満、福本洋子、小林昭次、山川トミ、望月六郎、小峯洋子、大森泰子、相馬昭仁、樋熊美智代、樋熊教幸、樋熊愛子、玄蕃栄子、井上昂、小笹方士

平成24年9月1日～11月30日
〈順不同・敬称略〉

☆ 加入方法 ☆
お名前のご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)を送付させていただきます。
個人会員 10,000円 / 団体会員 100,000円
* 会費は年会費となっており口数は何口でも結構です。
〒238-0041 本町2-11 総合福祉会館2階
横須賀市社会福祉協議会 総務課
TEL (S2) 1-601 / FAX (S2) 0604
Eメール shakyo@w97.sonet.ne.jp

賛助で参上!
社協活動応援団

一日無料体験授業開催中!!

イトマンの授業を一度体験してみませんか。

- 対象 / 全クラス
- 初めてイトマンの授業を受けられる方
- ※水泳に不適格な疾患のない方

電話予約制・お一人様1回限り

定員に限りがございます。お申し込みはお早めに!

正会員入会特典

1日無料体験授業受験後正会員になられた方は

入会金
0円!



幼児・ジュニアクラス
水着+スクールバック

ベビークラス
ヘルパー+スイミングキャップ

大人クラス
ゴーグル+スイミングキャップ

プレゼント!

イトマンスイミングスクール 横須賀校

横須賀市日の出町3-11
http://www.e-itoman.co.jp/

☎046-823-6170

シリーズ 成年後見

もうした
第4回 申立て



成年後見制度は「認知症、知的障害、精神障害等により、判断能力が不十分な方々の暮らしや財産を“後見人”が法的に守る制度」です。

制度利用には、申立てを行います

●どこに申立てするの？

本人が住んでいる所の 家庭裁判所 に行います。
横須賀市の場合、横須賀支部です。
※この12月より庁舎移転しています。
住所：横須賀市新港町1-9 電話：046(825)0569 (代表)

●誰が申立てするの？

本人、配偶者、4親等内の親族(親、祖父母、子、兄弟、甥姪、おじおば、いとこ など)が行えます。

●申立てに必要なものは？

申立書、戸籍謄本、住民票、診断書、財産目録などの書類が必要です。
申立書は、家庭裁判所で入手できます。

●申立て費用は？

だいたい1~2万円程です(必要書類にかかる費用はのぞく)。鑑定費用がかかる場合もあります。原則、申立て人の負担です。

●後見人には、誰になるの？

誰が後見人等となるかは、最終的に家庭裁判所の審判により決まります。親族や、弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職など(第三者)が選任されます。希望する候補者がいる場合には、申立書に記入して、申立てすることもできます。

●将来に備え、任意後見制度を利用したい場合は？

まずは、公証役場で「任意後見契約」を公正証書により結びます(作成の基本手数料等は1~2万円程)。その後、本人の判断能力が低下した時、任意後見監督人の選任申立てをします。



市社協でも、成年後見制度の説明・助言等、相談をお受けしています。

■あしんセンター TEL.(821)3605

以下の第三者(専門職) 後見人団体では、成年後見制度利用の相談・申立て手続きの代行・助言、後見人等候補者の相談、情報提供等を行っています。

- ◆横浜弁護士会 みまもりダイヤル TEL.045(211)7720
- ◆リーガルサポート(司法書士) TEL.045(663)9180
(月・金：15時から17時、水：10時から12時)

- ◆かなさぼ(行政書士) TEL.045(222)8628
(月~金：13時から16時)
- ◆ばあとなあ(社会福祉士) TEL.045(314)5500
(火・木・土の14時から17時)

「親族後見人のための講習会と相談会」を開催しました!!



横浜家庭裁判所横須賀支部 池田隆主任書記官の講演に聞き入る参加者

平成24年10月27日(土) 総合福祉会館にて、県社協・かながわ成年後見推進センターとの共催により「親族後見人のための講習会と相談会」を開催しました。

親族後見人の方、これから成年後見制度の利用を考えている方、市内相談支援機関職員の方など、約90名の方が参加されました。

親族後見人は、認知症や障害のある方の成年後見人の約6割を占めています。活動する中での疑問、自分自身や家族の制度利用などについて、多くの質問が出され、成年後見制度への関心が高まっていることが感じられました。

結婚

独身時代のマンションどうしよう。売ってしまおうかな。

成長

そろそろ子供達専用のお部屋が必要。住み替えの検討をしようかしら。

転勤

長期化しそうだな。この際、売ろうか、それとも、貸そうか...

同居

子供達や孫達のそばで安心して暮らせたら、住み替えの計画してみようか。

相続

実家を相続したが、今は誰も住んでなく空家なんだけど。



所有の不動産 自宅 空家 遊休地 事業用不動産 売却・賃貸・遊休地処分・有効活用

◎創業36年 横須賀・横浜・湘南エリア21拠点

ウスイグループにご相談ください



横須賀市を中心に実績 **36年**

今期買取予算総額 **50億円!!**

ウスイホーム 検索



トッピーのよこすか探訪：秋谷の立石

よこすかボランティアセンター

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階
 開 所 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分(土・日曜日と祝日は休み)
 電 話 (821) 1303 (825) 0017 / FAX (824) 8110
 E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp
 ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>
 ※ボランティア等の申込み・問合せ先を明記していないものは、よこすかボランティアセンターが窓口です。

学校体育館で宿泊体験 ～寒さ(さむさ)を体感～

災害時に
備えて!!

地震災害が起きると、多くの人たちは「震災時避難所」へ避難することになります。現在、横須賀市が指定している震災時避難所は学校の体育館です。

今回は、神明中学校にご協力いただき、体育館で夜を明かす体験をとおり避難所での生活を考えます。



▶交流・宿泊コース

<内 容>さまざまな人たちがひとつの場所に避難し、宿泊体験をします。
 <日 時> 1月19日(土)17時～20日(日)7時まで
 <集合場所>神明中学校 <定 員>50人(抽選)

【交流・宿泊コースのお申込み】

→電話、FAX、Eメールでボランティアセンターまで。

▶外国人支援・宿泊コース

<内 容>災害時に外国人が直面する課題について学び、理解を深めます。
 <日 時> 1月19日(土)14時～20日(日)9時
 <集合場所>久里浜コミュニティセンター <定 員>30人(抽選)

【外国人支援・宿泊コースのお申込み】

→直接、横須賀市国際交流課(TEL046-822-8138)まで。

★共通事項★

<宿泊場所>神明中学校
 <対 象>防災や災害活動に関心のある人で、健康上、体育館での宿泊に問題のない小学生以上(中学生までは保護者と一緒に参加)の方
 <参加費>500円(保険・食代として)
 <持 物>食器、寝具(防寒用の毛布、寝袋等)その他寒さ対策に必要なものなど
 <申込締切>1月4日(金)

主 催：横須賀災害ボランティアネットワーク、NPO法人横須賀国際交流協会、横須賀市

みはるスポーツクラブ ボランティア大募集

内 容：知的障害者の機能訓練、運動補助
 (バドミントン、体操、ボール、マット運動ほか)
 日 時：毎週木曜日 17時～18時 ☆30分だけでも結構です。
 場 所：三春コミュニティセンター体育館

「就ボラ活動」合同説明会 ～ボランティア活動の第一歩を始めませんか～

ボランティア活動はしてみたいけれど、個人での活動は良くわからないし、どんなグループがあるのかもわからない。ボランティアを始めるきっかけがない。そんな方々に新たな活動の場を見つけていただくイベントです。

『今、あなたの力を横須賀で発揮してください!!!』

日 時：2月14日(木) 13時30分～15時30分
 場 所：総合福祉会館 5階 ホール
 内 容：ボランティア団体紹介・相談会
 参加対象：横須賀市内でボランティア活動・ボランティア団体を探している方
 主 催：横須賀市社会福祉協議会
 協 力：横須賀市ボランティア連絡協議会
 申 込 み：氏名・連絡先をよこすかボランティアセンターへ

第8回 ボランティアフェスタよこすか

“ともに生きる福祉社会”

ぬくもりが感じあえて、仲間の居る事に喜びをかみしめられるそんなフェスタになることを願って企画しました。



前回(第7回)の様子

日 時：3月9日(土) 10時30分～15時30分
 場 所：総合福祉会館 4階点字図書館・5階各会場
 内 容：横須賀を拠点に活動するボランティアグループの活動を紹介します。踊り・歌・演奏・マジック・けん玉等のパフォーマンス、展示紹介、地域作業所の製作品販売、飲食ブースもあります。入場自由。
 主 催：横須賀市ボランティア連絡協議会
 後 援：横須賀市社会福祉協議会
 問い合わせ：よこすかボランティアセンター

住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は 湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

■本 店ローンセンター 0120-413-357

■上大岡ローンセンター 0120-470-417

SHONAN 湘南信用金庫 ホームページアドレス
<http://www.shinkin.co.jp/shonan>



お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも総合福祉会館2階です。相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。/12時~13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、お年寄りや障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【予約制】窓口の相談は混雑していますので、お越しいただく前に必ず電話でご連絡ください。
●毎週月~金曜日
9時~11時30分・13時~16時
予約はTEL(821)1301
地域福祉課 生活福祉資金担当

介護相談

①お困りの内容によって資金の種類が異なります(一般生活費の貸付けはありません)。
②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。
③原則として連帯保証人が必要です(市内在住の方)。

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。
●毎週月~金曜日
10時~16時 福祉機器展示場
電話相談TEL(824)9436

住宅改造相談

ちよつとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。
障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会の建築士が相談に応じます。

【予約制】
●毎月第4水曜日
10時~15時 市社協相談室
予約はTEL(823)0386
神奈川県建築士事務所協会 横須賀支部へ
受付時間10時30時~17時

『若年期認知症』 ~よこすかのつどい~

介護家族が集まって、介護に関する相談、情報交換、勉強会などを行います。本人たちの交流もあります。

日時:1月12日(土)11時~15時
場所:県立保健福祉大学 大会議室(2階)
申込み:(公益社団法人)認知症の人と家族の会神奈川県支部
TEL・FAX 044-522-6801

認知症は、高齢期だけの病気ではなく、最近では働き盛りの人の発症が増えています。若年期認知症の方と家族は、高齢期とは異なる課題を抱え、地域社会にあっても孤立しがちです。より多くの方が若年期認知症を正しく理解することが、本人と家族が、明るく楽しい生活を地域で継続していく大きな支えになります。



ありがとう

社会福祉のために、温かい寄付がありました。(敬称略)
平成24年9月1日~11月30日
木村忠昭、バーラー風羅巴、玉井歌謡塾玉井明、勅使河原道夫、栗田敏彦、船橋珠枝、ゆすこーし家庭教育振興協会、榎根岸工務店、横須賀落語愛好会、三浦藤沢信用金庫、横山公季、堀健次郎、よこすか葉山虹の会、大津二丁目老人生きがいの家、鈴木一良、船越七丁目梅友会、船越七丁目第二梅友会、天空若葉会、古川

松夫、石川三夫、匿名3件
柳田和代、ターチー模型、徳嶺啓子、指宿千恵子、上町第2地区ボランティアセンター、本町デイサービスセンター、横川和司、手話サークル逸見、三春町地区ボランティアセンター、衣笠地区ボランティアセンター、大津地区ボランティアセンター、山崎峰崇、肢体障害者協会、小林榮子、手話ダンスグループ「ゆらぎ」、あじさい指の会、山田智恵子
寄付金26件 二、三二六、八一七円
物品18件

あともがき

明けましておめでとございます。

「今年は希望の持てる良い年になりますように」と地域の氏神様にお願ひした昨年の初詣。お賽銭のせいにしてはいけないのでしようが、歳を一つ頂いただけの一年だったように思います。

先日、お父様を介護されている娘さんとお話しをする中で、とても心に響いたことがありました。

「父が『歳をとるといふことは、大変なことなんだよ』と言っんです」といとおしそつに話されました。

舅を半年ほど自宅で介護をした経験から、介護をされる側の気持ちは多少理解をしているつもりでいたのですが、高齢者の方が病を抱え家族の世話になりながら歳をとっていくことの辛さや、申し訳ないという気持ちの深さに改め

て気付かされました。

昨年、厚生労働省の委託事業として「在宅医療連携拠点事業」が公募され、横須賀市内では二つの事業者が採択されたとのこと。「医療」と「福祉」が連携・協働して在宅医療を推進するための事業で、その窓口として「かもめ広場」という愛称の事業所も立ち上げられたと聞きました。また、今では地域包括支援センターが定着し、その活躍は目覚ましく地域住民から大いに頼られる場となつていますが、そこに福祉の分野では影の薄かった「医療」が「かもめ広場」によって連携されれば、さらに頼りがいのあるものとなるに違いありません。できることなら在宅で療養・介護をして頂ける日が一日も早く来ることを期待し、「健康」であることが「良い事」であると肝に銘じて、余計な欲を出さないよう穏やかに歳を重ねてゆきたいものです。(Y)